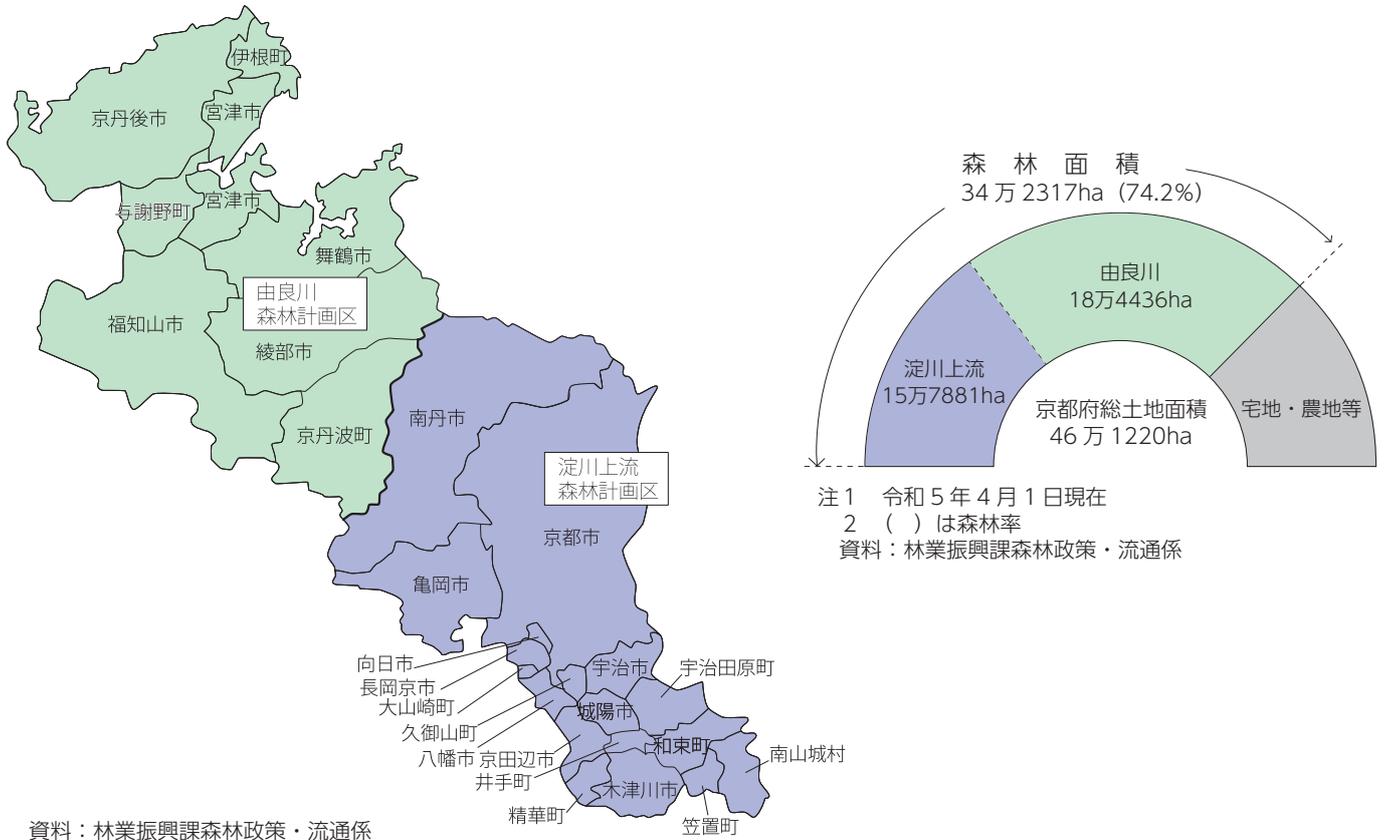




I 森林の現況

- 京都府の森林面積は 34 万 2317ha で、総土地面積に占める森林の割合は 74.2%と全国の 66.4%を上回っています。
- このうち国有林を除く民有林の割合は 97.9%と、全国の 69.4% に比べ、民有林の割合がかなり高くなっています。
- 京都府内の森林計画区は 2 つに分かれており、淀川上流森林計画区は 10 市 7 町 1 村で面積 15 万 7881ha で、由良川森林計画区は 5 市 3 町で面積は 18 万 4436ha です。
- 民有林面積 33 万 4996ha のうち地域森林計画対象森林面積 33 万 3723ha です。
- 地域森林計画対象森林面積のうち淀川上流森林計画区の面積は 15 万 4236ha で、由良川森林計画区は 17 万 9487ha です。
- 地域森林計画対象森林面積のうち人工林は 12 万 6418ha で、地域森林計画対象森林全体の 37.9%となっています。

京都府森林計画区図 (令和 5 年 4 月 1 日現在)



地域森林計画対象森林の森林計画区別人工林・天然林等別面積構成 (令和 5 年 4 月 1 日現在)



淀川上流森林計画 (令和 4 年度計画樹立)



由良川森林計画 (令和 2 年度計画樹立)



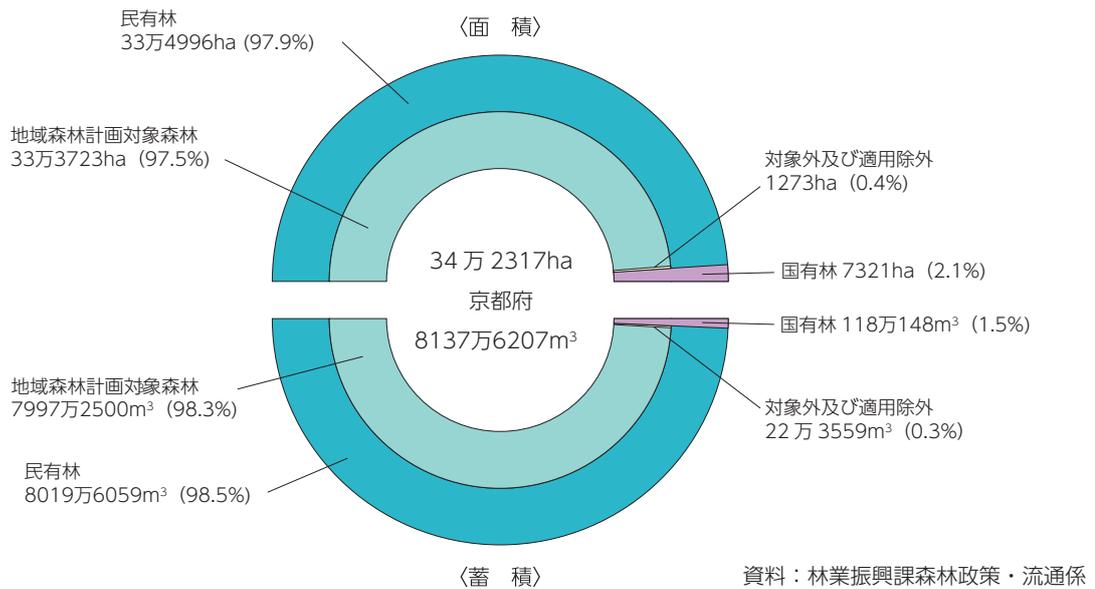
京都府 総計



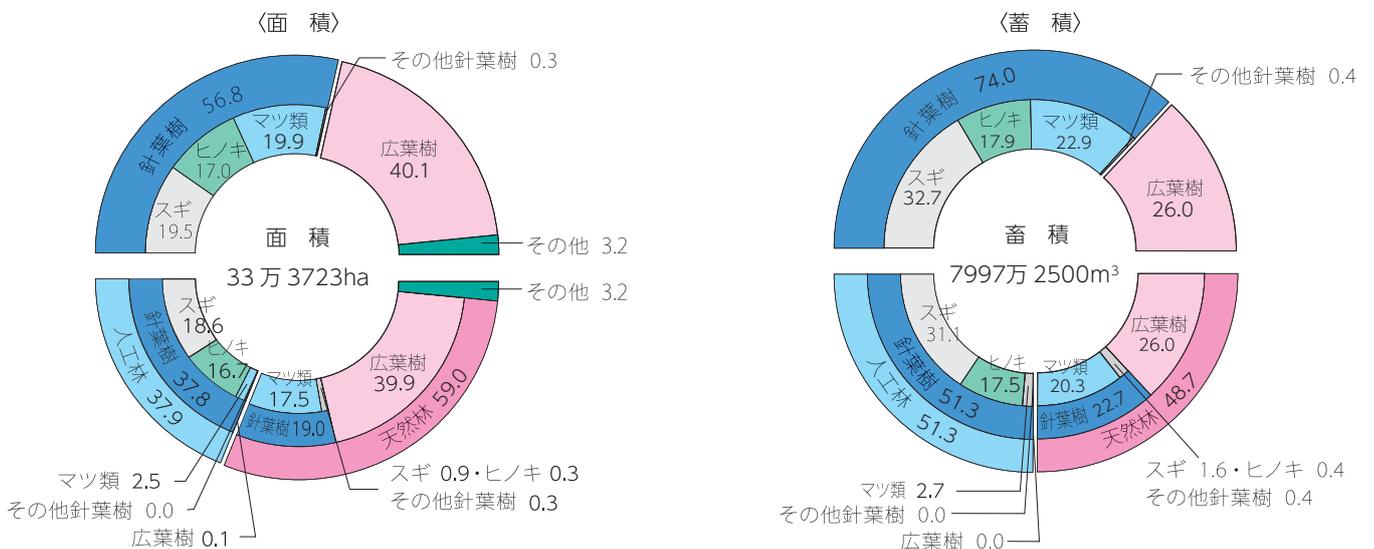
注 1 人工林率は、地域森林計画対象森林における人工林面積を地域森林計画対象森林 (対象外及び適用除外森林を除く) 面積で除している。
 注 2 () は、構成率
 注 3 森林率は、「国有林」及び地域森林計画対象森林の「対象外及び適用除外森林」を含む全ての「森林面積」を「総土地面積」で除している。
 資料：林業振興課森林政策・流通係

- 地域森林計画対象森林の樹種別面積割合は、スギが 19.5%、ヒノキが 17.0%、マツ類が 19.9%、広葉樹が 40.1%となっています。
- 地域森林計画対象森林の蓄積量の総数は 7,997 万m³ で、そのうち人工林が 4,106 万m³ となっており、全体で毎年 53 万m³、人工林で 36 万m³ 近く増加しています。

所有形態別森林面積及び蓄積 (令和5年4月1日現在)



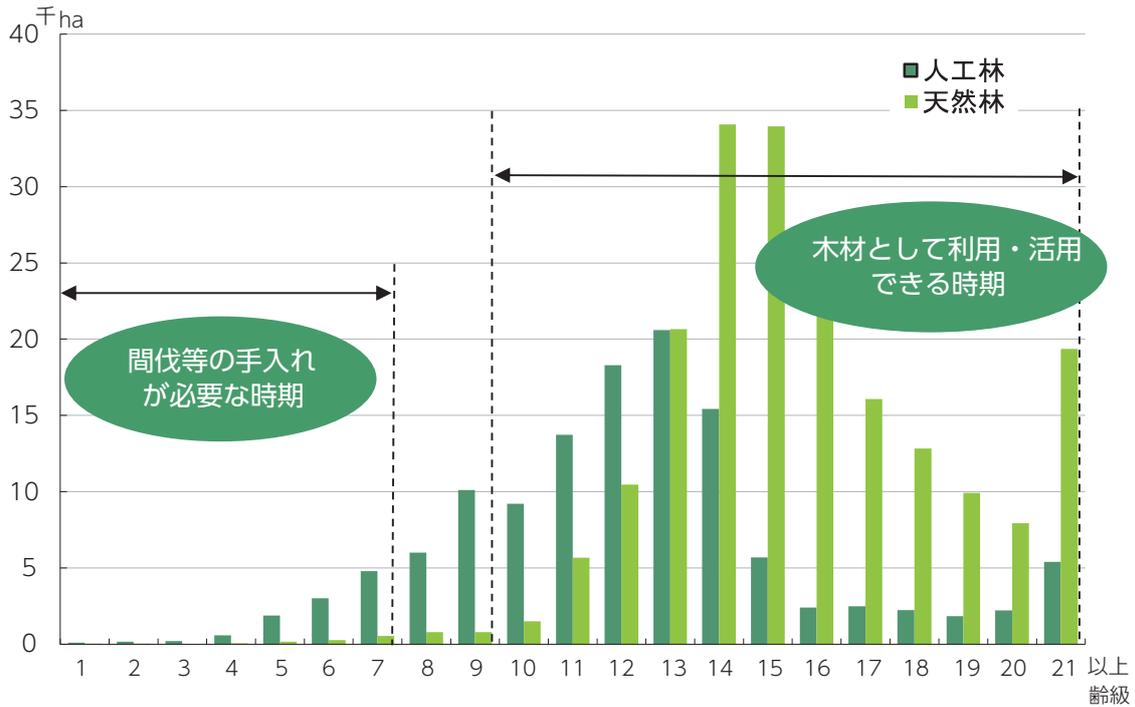
地域森林計画対象森林種別・樹種別面積及び蓄積 (令和5年4月1日現在) (単位：%)



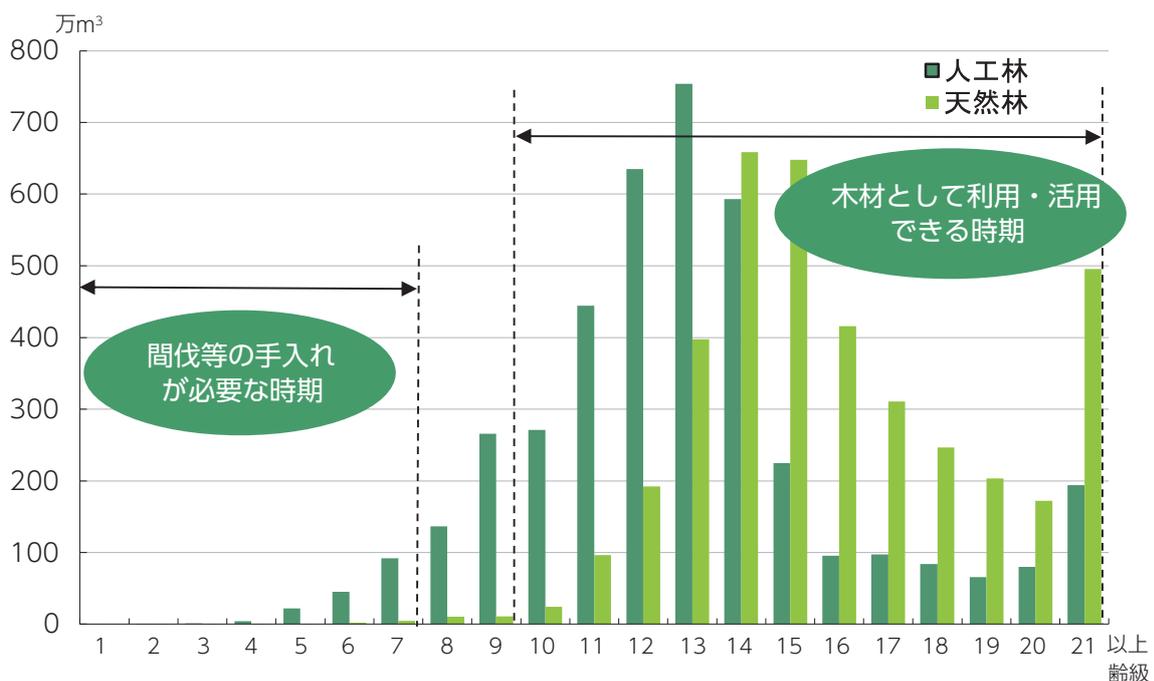
注 その他とは、竹林、伐採跡地、特用樹林、未立木地、更新困難地である。
資料：林業振興課森林政策・流通係

- 民有林の齢級別構成は、人工林では、12～13 齢級（56～65 年生）をピークに、10 齢級（46 年生）以上の利用期に達した面積は 79%で、人工林の活用と再生林により資源の循環利用を進めていくことが課題となっています。
- 下刈り、雪起こし、枝打ちや間伐などの手入れが必要とされる 7 齢級（35 年生）以下の人工林は 8%となっています。

民有林齢級別構成（令和5年4月1日現在）
〈面積〉



〈蓄積〉



注 齢級とは、1年生から5年生までを1齢級、6年生から10年生までを2齢級、以下同様に5年生ごとのまとまりを単位とする林齢の表し方である。

資料：林業振興課森林政策・流通係